

平成20年度経営者懇談・経営セミナー



平成20年11月18日(火)午後1時15分からホテルポールスター札幌において「平成20年度経営者懇談会セミナー」を開催し、会員代表者など約80名が参加した。

はじめに、吉川会長から最近の当業界を取り巻く経営環境について「原油高の影響による各種資材の高騰、アメリカの金融不安による株式市場の低迷等により、我々電設工事業界でも厳しい状況が継続している。特に本道では全国と比べても地域格差、業種格差が一層進んでいるところであり、極めて厳しい状況にあるが、電気は国民生活や、企業活動等に直結するライフラインとなっており業界として重要な社会的責任を担っていることを認識しなければならない。そのためにも、“法令を遵守”し、公正かつ適正な運営活動が続けるのが大変重要な事である」と挨拶された。

経営セミナーでは、建設経営コンサルタントで

アサンテ経営労務事務所代表の手島伸夫氏がカルロス・ゴーン日産自動車社長の経営手法を基にした「建設業の底力を引き出すコーチング」を講演された。

セミナーのなかで手島氏は、経営のポイントとして「発注者・建物の利用者、組織内の人間、自分自身に“成功しそうだなと思わせること”が成功への近道である」と力説。さらに、コーチングとは一番いい言葉を部下に言わせて、その実力を引き出す技術が重要であると説明。部下のやる気高めるためには、①部下への期待を伝え→②部下に自分から小さな挑戦をさせる→③本人が経験から学び考える習慣を身に付けさせる→④日常業務の中でコミュニケーションを取り→⑤上司と部下による共有・共感を行う。という手順を示し、現場のやる気を引き出すコーチング手法を指導された。



吉川会長 挨拶



熱心に講演された 手島講師